

02 F-100D スーパーセイバー

CENTURY SERIES COLLECTION

デカールの 貼り方

- ①デカール表面にある透明の保護シートをていねいにはがします。
 - ②貼りたいデカールをハサミで切り取り、台紙を下にして20秒ほど水に浮かべます。
 - ③デカールを貼りたい位置に置き、台紙をずらします。
 - ④デカールを正しい位置にあわせ、水気をふぎとります。
- ※(株)GSIクレオスから発売されているMr.マークセッターなどを使用すると貼りやすくなります。

A 27戦術戦闘航空団 481戦術戦闘飛行隊

⑮ その他の番号

0-53548



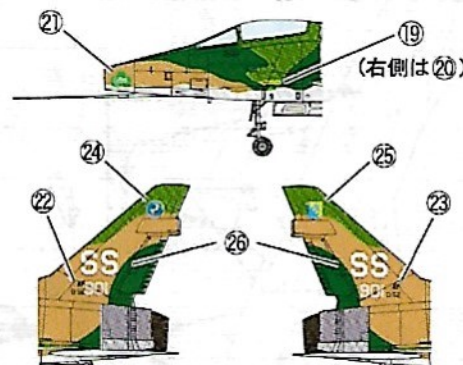
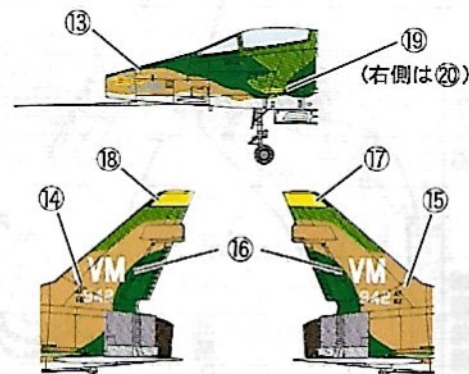
B 31戦術戦闘航空団 308戦術戦闘飛行隊



B その他のデカール使用例

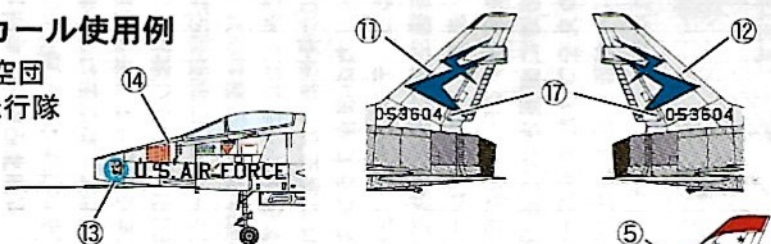
35戦術戦闘航空団
352戦術戦闘飛行隊

31戦術戦闘航空団
309戦術戦闘飛行隊

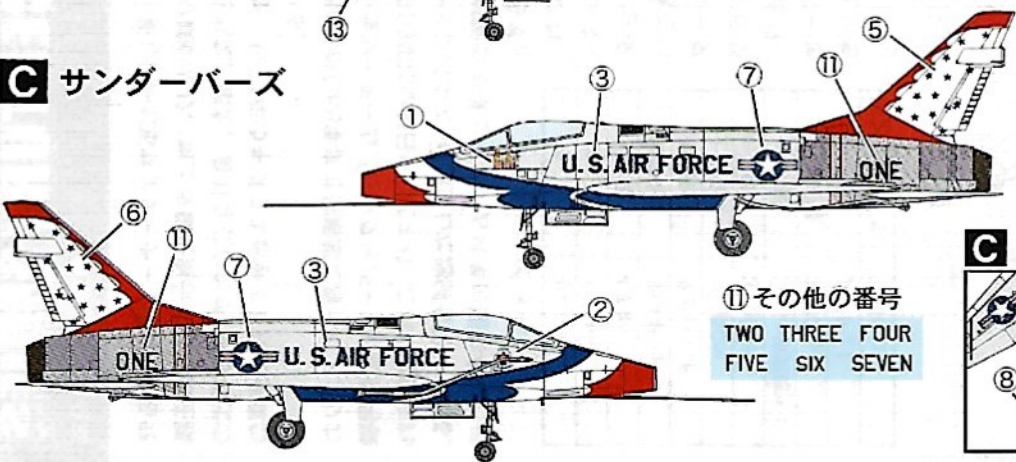


A その他のデカール使用例

27戦術戦闘航空団
416戦術戦闘飛行隊

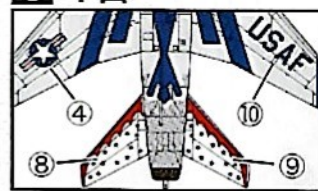


C サンダーバース



⑪ その他の番号
TWO THREE FOUR
FIVE SIX SEVEN

C 下面



万一、不都合品がありましたら、下記住所宛に現品をお送りください。代品と送料をお送り致します。

エフトイズ・コンフェクト お客様相談室
〒545 0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-15
☎ 06-6626-6060
電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～17:00

1950年代アメリカ空軍が続々と完成させた超音速戦闘機群は、ちょうどF-100から始まるため「センチュリーシリーズ」と名付けられ、アメリカの技術力と軍事力を誇示する役割を負わせ華々しく宣伝された。

トップバッターのノースアメリカンF-100スーパーセイバーは、P-51ムスタングやF-86セイバーを開発した名門ノースアメリカン社が開発した超音速戦闘機で、1953年に初飛行に成功、同時に音速を突破し世界初の超音速戦闘機というタイトルを獲得している。

技術的には前作F-86セイバーを洗練させたもので、35度の後退翼を45度とし、エンジンをアフターバーナー付きの強力なJ57としている。その後のセンチュリーシリーズ各機と比べると新鮮味を欠く堅実な設計であったが、超音速領域に関しては当時未知の分野であり、1954年に実戦配備されてからも空中分解や操縦不能になるなど多くの事故を乗り越えなければならなかった。ノースアメリカン社はF-100をさらに発展させたYF-107ウルトラセイバーを試作し、飛行試験で好成績を記録したが、これは量産されずに終わっている。

F-100はそもそもF-86と同じ制空戦闘機として開発されたが、量産されたほとんどが核爆弾も搭載できる戦闘爆撃機型であり、のちのベトナム戦争では爆弾、ナバーム弾、ロケット弾を搭載して対地攻撃に従事した。ここでは時代遅れと見られた4門の20ミリ

機関砲が役立ったほか、新しいF-105サンダーチーフをMiGから守る制空戦闘機として返り咲いたり、地上攻撃を指示するFAC任務など幅広い任務に重用された。また、意外なことだが1960年代の中台紛争で台湾空軍機が、1974年のキプロス紛争でトルコ空軍のF-100が戦火を交えている。

華やかな面では、1956年から68年まで長期間に渡ってアメリカ空軍のデモンストレーション・チーム「サンダーバース」の使用機として活躍している。1959年には来日もしており、これに触発されて航空自衛隊の「ブルーインパルス」が誕生した逸話も残っている。

F-100は誕生したのが朝鮮戦争とベトナム戦争の間の平和な時期であったにもかかわらず、2,200機あまりが生産され、アメリカのほかフランス、トルコ、デンマーク、台湾の各国空軍に採用されている。また、本格的なレーダーを搭載するF-100Jが航空自衛隊に提案されており、日の丸をつけたスーパーセイバーが誕生していたかもしれない。

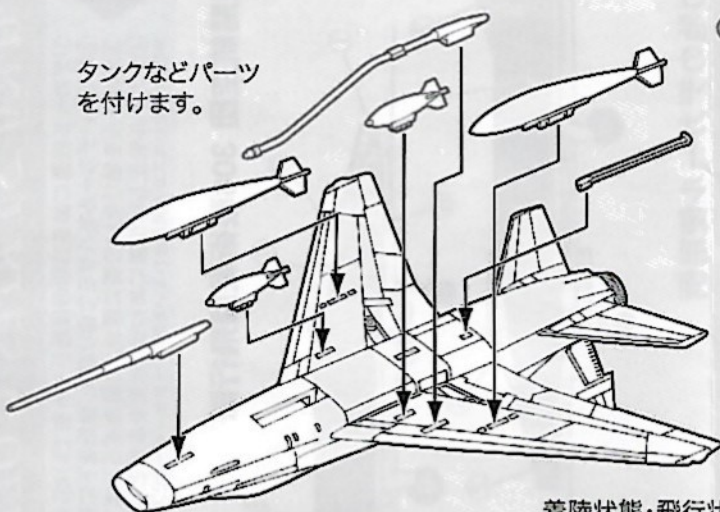
● F-100D データ

全長	15.04m
全幅	11.83m
全高	4.93m
全備重量	15,445kg
最大速度	マッハ1.28
上昇限度	15,550m
航続距離	3,200km
武装	20mm機関砲×4
爆弾搭載量	3,190kg
エンジン	J57-P-21
アフターバーナー推力	7,258kg

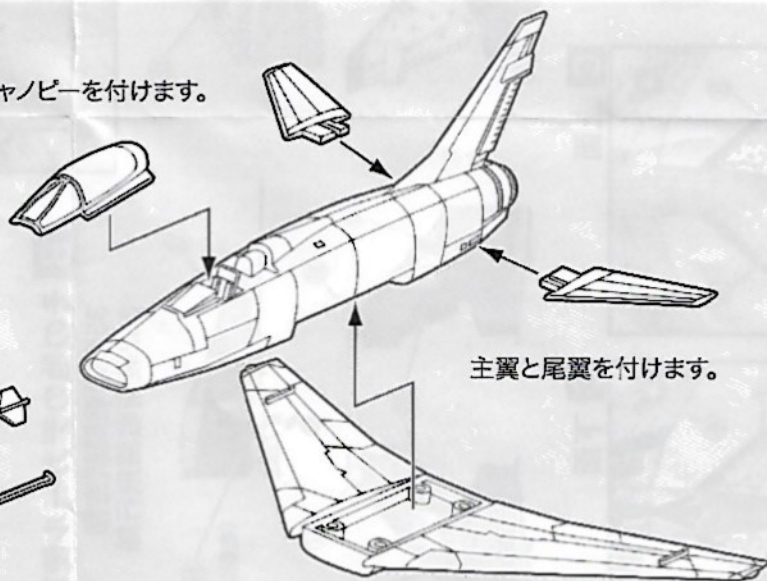
組立て方

- 脚パーツは細かい部品のため、破損しやすいのでご注意ください。
- ランナーから切り取る際はニッパー等をご使用になり、残りをカッターで削り取れば、よりキレイに仕上がります。刃物の取り扱いには十分にご注意ください。
- 取り付けにはピンセットを使用すると組立てやすくなります。

タンクなどパーツを付けます。



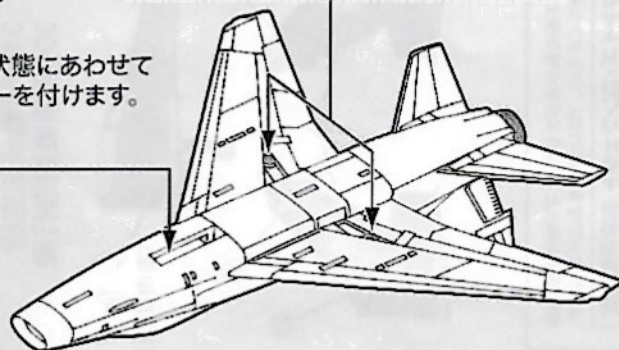
キャノピーを付けます。



主翼と尾翼を付けます。



着陸状態・飛行状態にあわせて機体に脚とカバーを付けます。



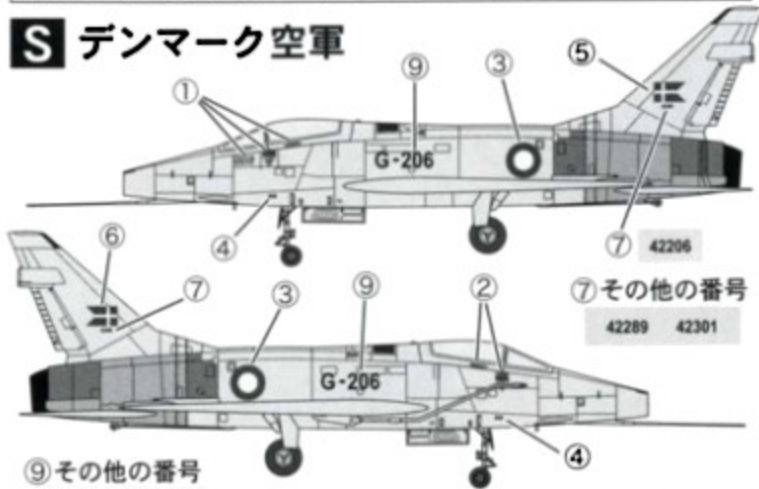
02 F-100D スーパーセイバー

※この商品はシークレットです。

II デカールの貼り方 II

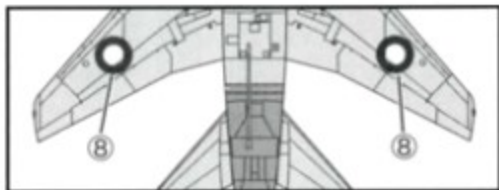
- ①デカール表面にある透明の保護シートをていねいにはがします。
 - ②貼りたいデカールをハサミで切り取り、台紙を下にして20秒ほど水に浮かべます。
 - ③デカールを貼りたい位置に置き、台紙をずらします。
 - ④デカールを正しい位置にあわせ、水気をふきとります。
- ※(株)GSIクレオスから発売されているMr.マークセッターなどを使用すると貼りやすくなります。

S デンマーク空軍



G-289 G-301

S 下面



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

G-206

G-289

G-301

G-206

G-289

G-301